

平成30年度 多自然川づくり近畿地方ブロック会議

地域との協働による狐川の再生 「みんなで進めた川づくり」

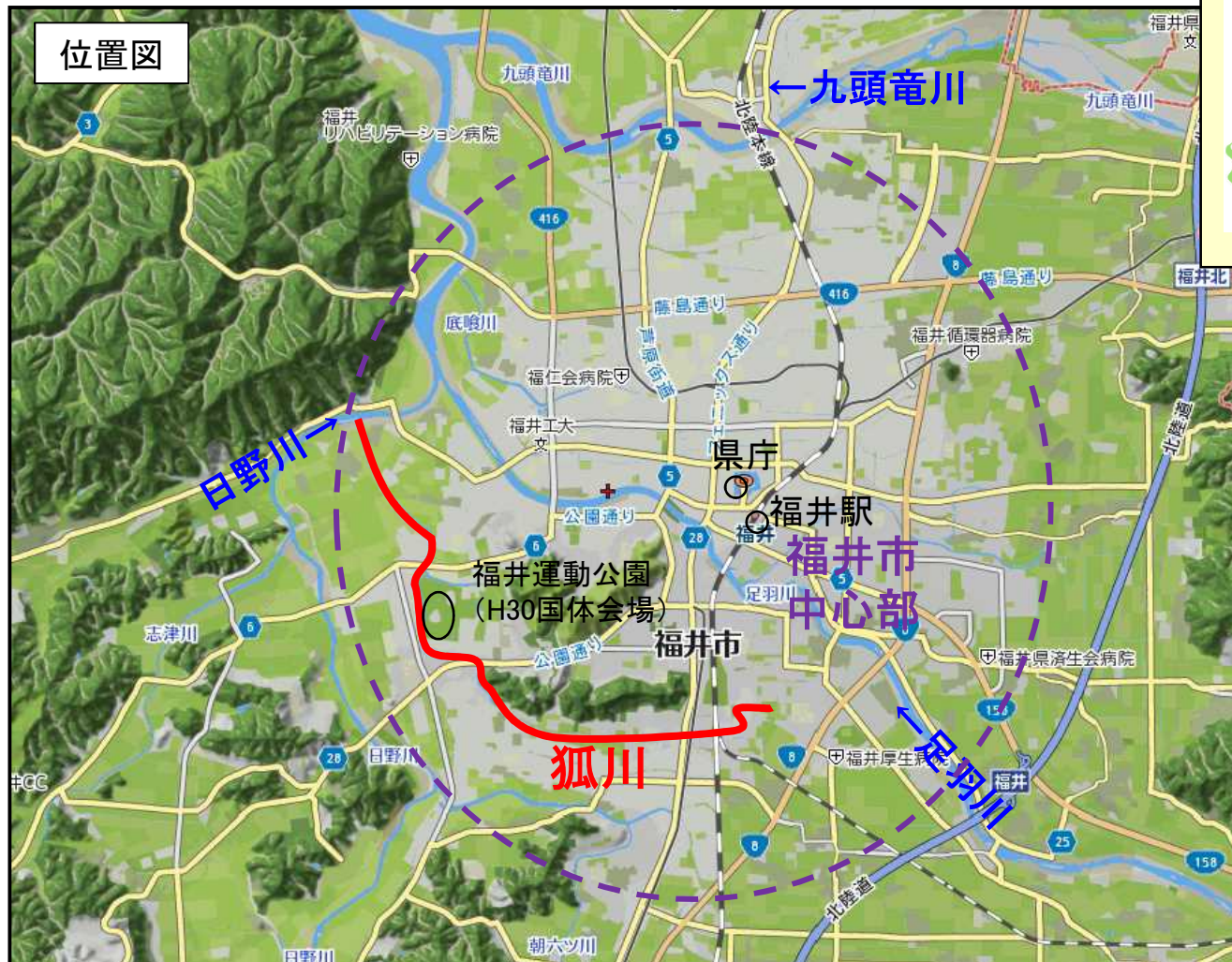
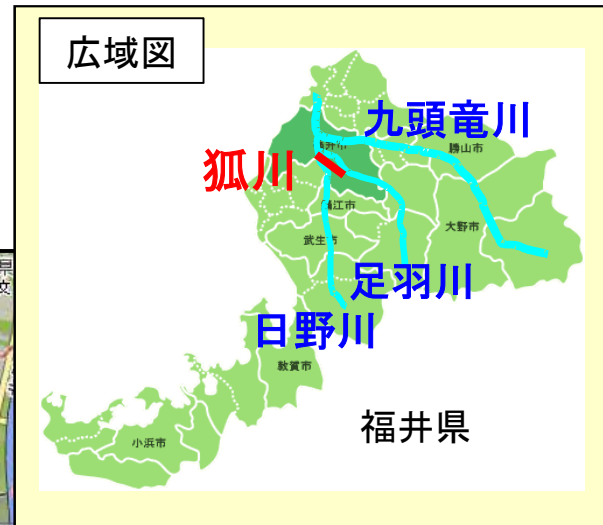


平成30年10月31日

福井県福井土木事務所 伊藤 恭平

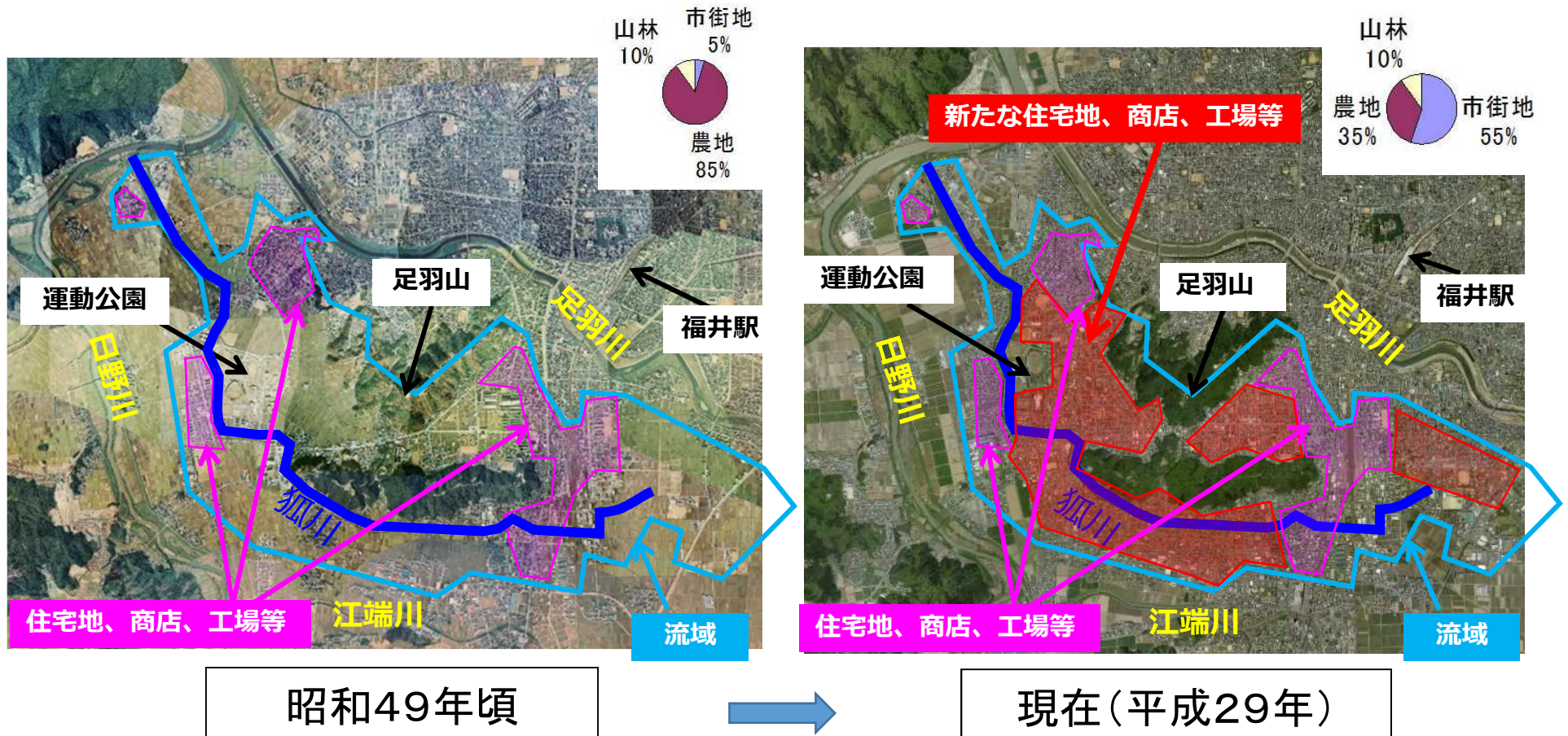
1. 狐川の概要

水系 : 一級河川九頭竜川水系
所在地 : 福井県福井市
河川延長 : 7.8km
流域面積 : 14.8km²



2. 狐川の流域

狐川流域の土地利用



- ・狐川の水源地は、農業排水・工場排水・生活排水が主。(山地地域を持たない)
- ・昭和中期～後期にかけて、急速に市街地化が進む。

3. 河川環境事業へのきっかけ

水質の悪化(昭和43年頃~)

ユスリカの大量発生(昭和57年)



ユスリカ



単調な河川断面(低水路工事前)



ユスリカの大量発生を懸念する新聞記事

- ・昭和43年頃から、水質悪化や自然環境の悪化が顕著に。
- ・昭和57年にユスリカが大発生。

→沿線住民の「水質改善」「自然環境の回復」への意識が高まる。

- ⇒平成元年 住民組織(狐川を美しくする会)の発足
- ⇒平成2年 県が河川環境事業(低水路工事)に着手
- ⇒平成4年 市が流域で下水道工事に着手

4.住民組織「狐川流域まちづくり協議会」

発足年	平成15年(平成元年に発足した「狐川を美しくする会」を発展)	
目的	狐川の環境保全を図るとともに、生態系の再生を進め、自然と共生する潤いのあるまちづくりに取り組む。	
メンバー	27名(狐川沿線の6連合会の連合会長、公民館長、自治会長、住民代表、ボランティアグループ会長など)	
主な活動	協議会の開催	年3回(福井土木事務所も毎回出席。 計画や工事の説明→意見聴取→工事に反映)
	一斉清掃(大規模)	年1回、協議会主催
	ホタル飛翔調査	年数回(5月～8月)
	現地調査・見学会	年1回程度
	清掃	年6回(市内一斉清掃にあわせて実施)
	花植活動など	必要に応じて実施



一斉清掃



工事完成後見学会



現地調査



苗植活動

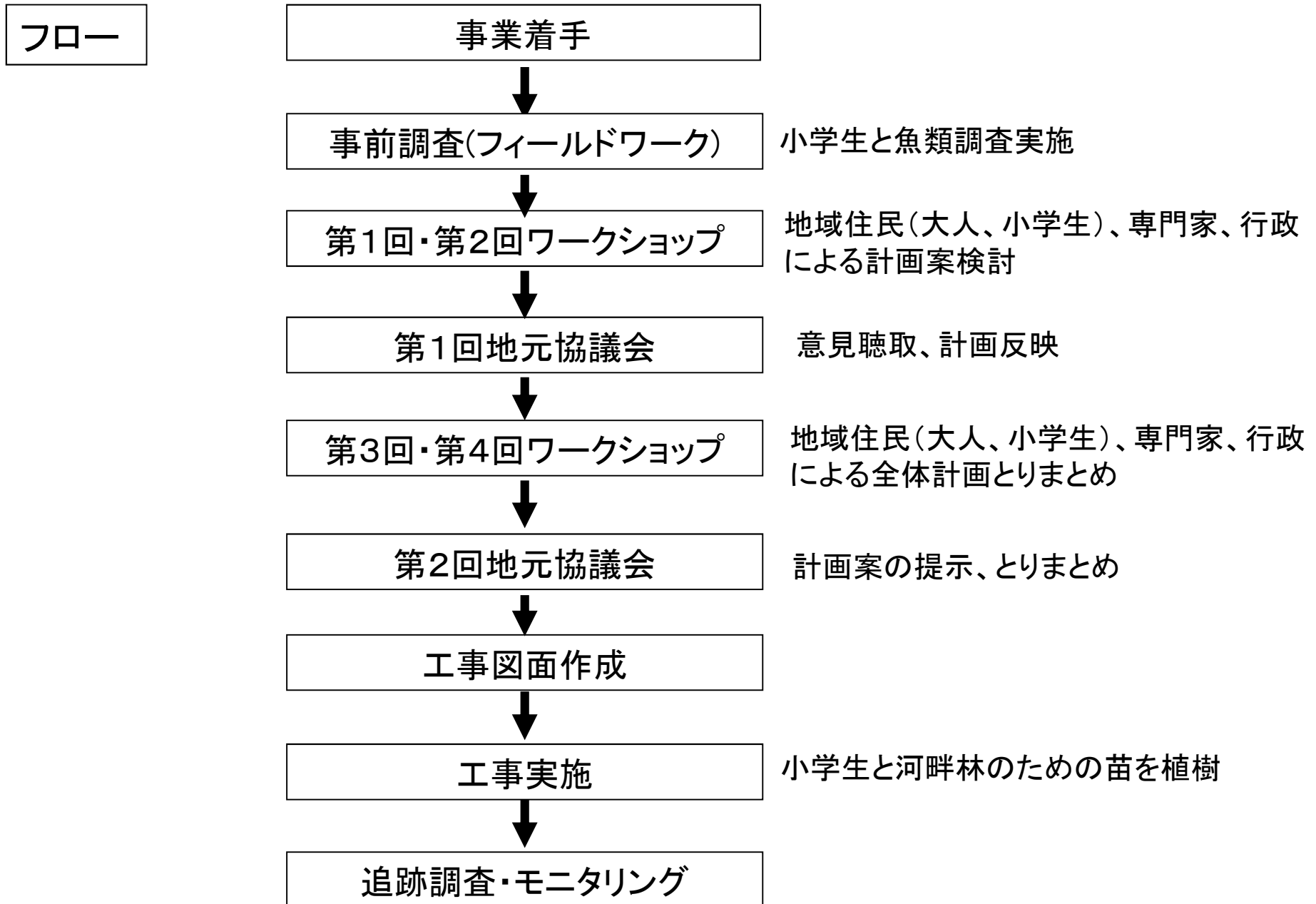
5.環境保全モデルプロジェクト(平成12年～平成14年)①

位置図



・狐川全体の整備に先立ち、平成12年から「モデル区間」として、福井運動公園周辺で、ワークショップおよび工事を実施。

6.環境保全モデルプロジェクト(平成12年～平成14年)②



7.環境保全モデルプロジェクト(平成12年～平成14年)④

ワークショップの実施



- ・地域住民(社西地区の大人、社西小学校児童)、専門家、行政計41人が参加。
- ・第1回、第2回はグループワーク形式(7～8人のグループ)で計画案を取りまとめる。
- ・第3回、第4回は地元協議会の結果も含め、参加者全員で協議を行い、全体計画をとりまとめた。



8.環境保全モデルプロジェクト(平成12年～平成14年)③

小学生とのフィールドワーク



事前調査(魚類調査)

○魚類調査

- ・コイ、フナなど水質汚濁に強い種が多く生息していることを確認。
- ・「ここに魚がいるとは思わなかった」という感想を受けるなど、市街地における貴重な生息空間であることが子どもたちに理解された。



河畔林のための苗植え

○河畔林のための苗植え

- ・潜在自然植生の構成種を基本に選定。生育時の自然淘汰を考慮し、常緑種と落葉種の比率を3:7とした。
- ・ポット苗の植栽参加者が実際の工事に関わる貴重な機会となった。

9.環境保全モデルプロジェクト(平成12年～平成14年)⑤

設計
図面

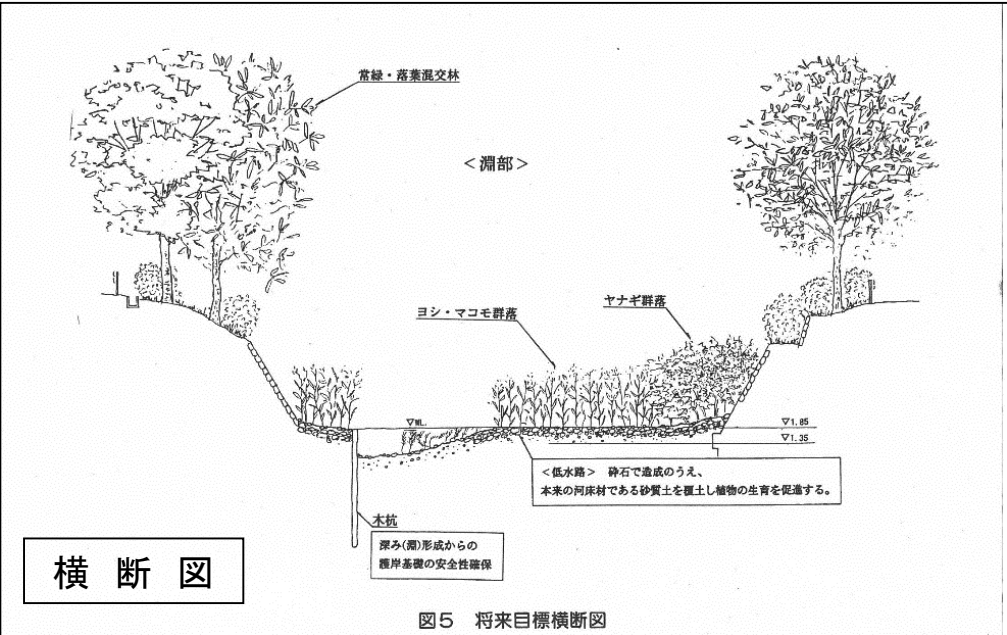
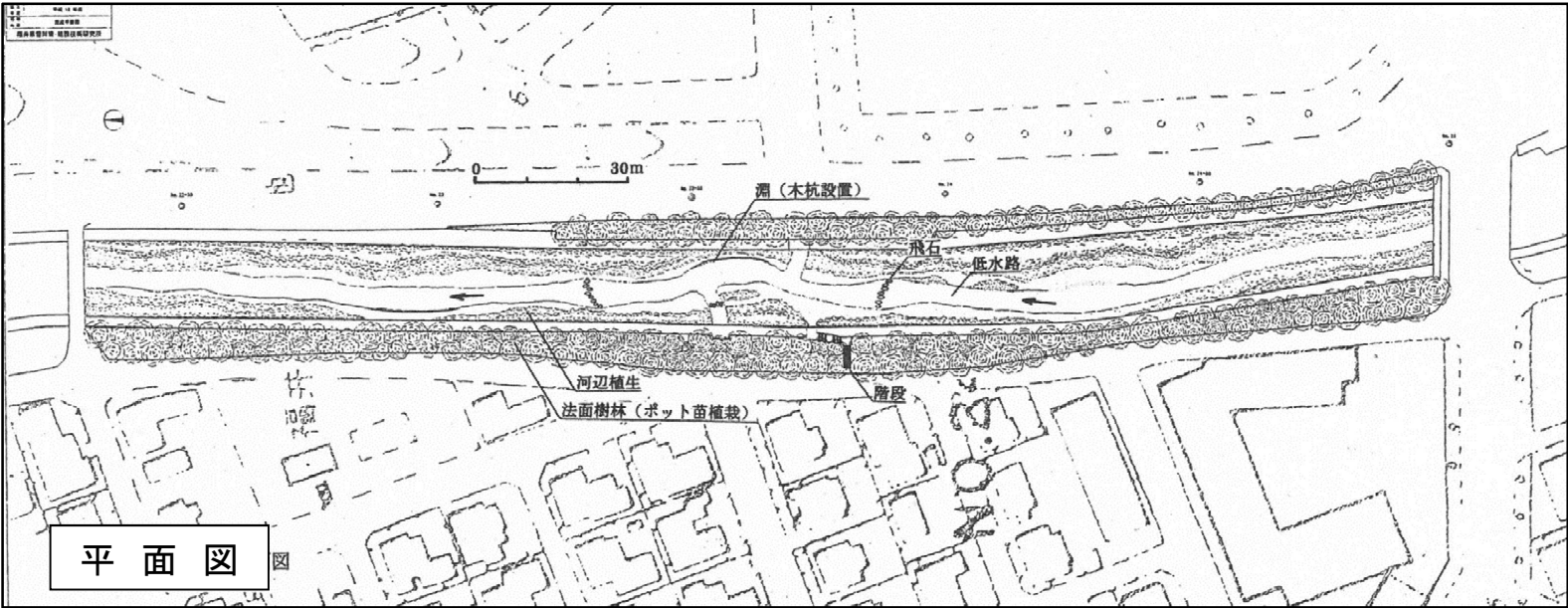
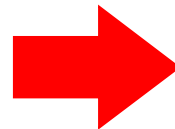
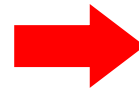


図5 将来目標横断図

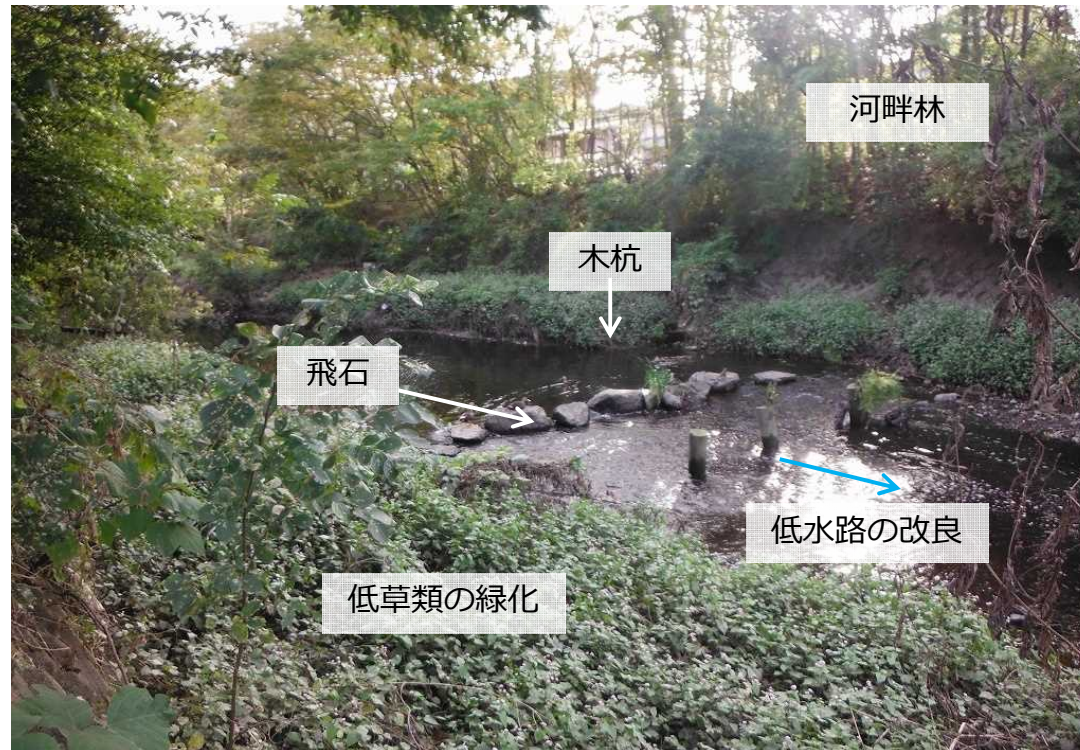
10.環境保全モデルプロジェクト(平成12年～平成14年)⑥

現場の経年変化



11.環境保全モデルプロジェクト(平成12年～平成14年)⑦

完成後の現在の状況(平成30年)



記念石碑(未来の川へ第一歩だゾーン)



河畔林や低水路の現地説明看板

まとめ

- ・住民、行政、専門家がワークショップで協力しながら取り組んだ。
- ・河川を昔のように蛇行させ、両岸には狐川にあるべき河畦林を植樹。
- ・水辺にあるべき植物が生え、メダカなどの生き物が戻ってきた。
→平成15年より、他の区間の工事を実施。

12.運動公園区間整備事業（平成29年～平成30年）①

位置図



- ・平成30年の国体開催に向け、会場周辺で集中的な河川環境整備を実施

13.運動公園区間整備事業（平成29年～平成30年）②

フロー

事業着手



河川環境授業の開催

小学生の考えや思いを聞き取り



第1回地元協議会

意見聴取、計画反映



第2回地元協議会

計画案の提示、とりまとめ



工事図面作成



工事実施

工事期間中も年3回、協議会へ工事の進捗状況等を報告 → 意見を工事に反映。



現場見学会・モニタリング

意見を今後の工事や他工区工事に反映

14.運動公園区間整備事業（平成29年～平成30年）③

小学校での河川環境授業



- ・社西小学校の児童42人に環境整備事業の意義、狐川の取組みについて、授業を実施。
 - ・授業の最後に、「どのような川になると良いか？」を絵にして描いてもらった。
- ⇒ 小学生の意見を工事に反映

狐川環境プロジェクト	こんな川になってほしい！
クラス： 6年 / 組	イラスト
名前： 〇〇〇	
こんな川になってほしい！	
コメント	
鳥や魚などが来たり、花が咲いたり、自然いっぱい狐川になってほしいです。ほかにも、いろんな、虫や魚などいっぱい来る川にしたいです。	
〇今の状況	
きて！みて！楽しい川づくり みんなで考えよう狐川、	

狐川環境プロジェクト	こんな川になってほしい！
クラス： 6年 / 組	イラスト
名前： 〇〇〇	
こんな川になってほしい！	
コメント	
花を植えてきれいにする 散歩道などをつくりみんなにしたらまら川にしたい。	
〇今の状況	
きて！みて！楽しい川づくり みんなで考えよう狐川、	

15.運動公園区間整備事業（平成29年～平成30年）④

住民との協議会および意見交換会



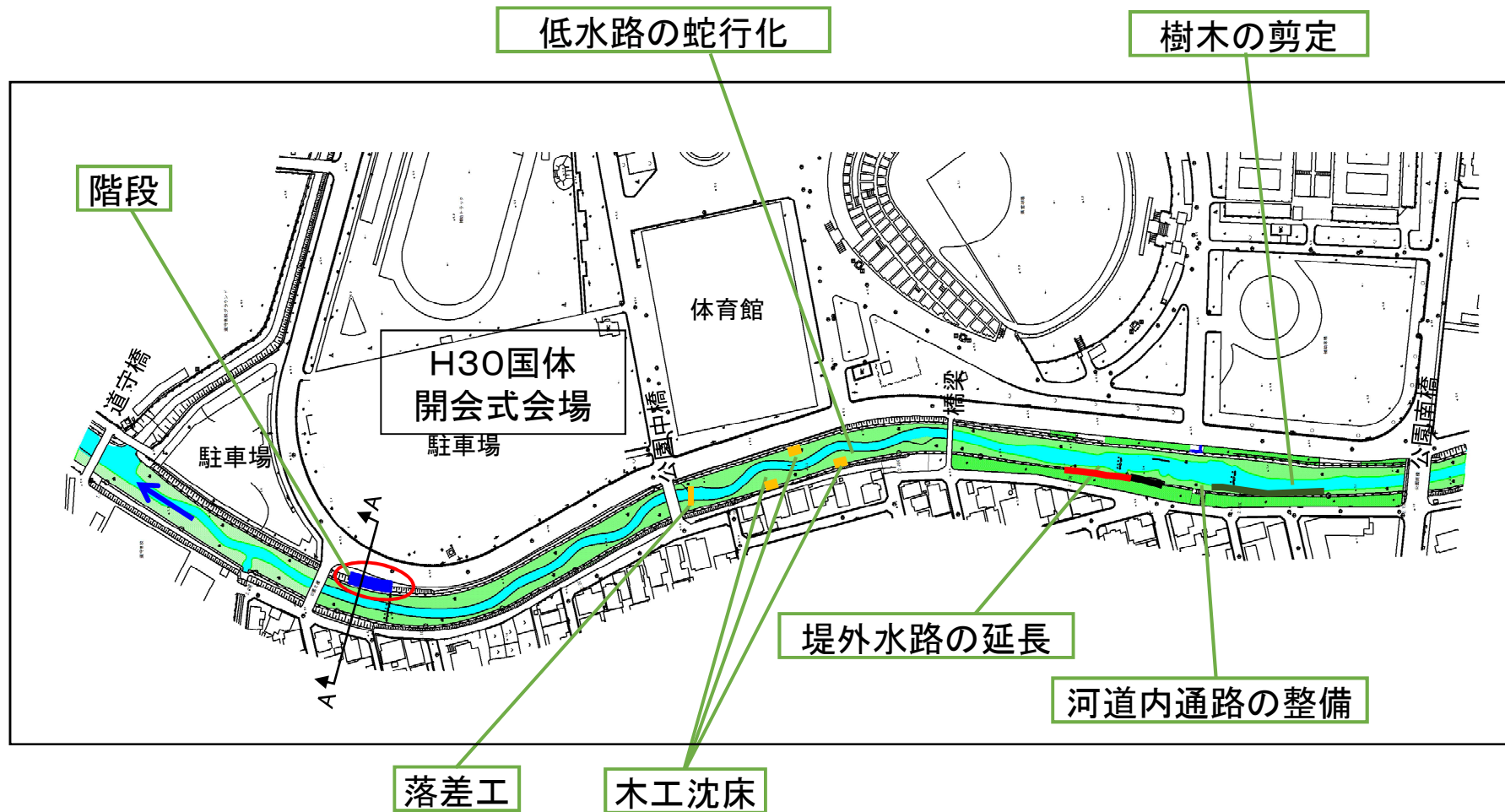
○主な意見

- ・地元の人だけではなく、運動公園を訪れる人など、いろいろな人が親しめるよう階段護岸を作るべき。
- ・支流の水は本流に比べ、水質が良い。その水をもっと生かすべき。
- ・他の区間も含め、河川内の不法耕作をなくすべき。それだけでも景観が劇的に変わる。
- ・昔のように、ホテルが住めるような川になってほしい。

- ・沿線住民(社西地区)約1,000世帯を対象に案内状を送り、参加者を募集。
 - ・2回合わせて、56名が参加。意見を聞き取り。
- ⇒ 地域住民の意見を工事に反映

16.運動公園区間整備事業（平成29年～平成30年）⑤

設計図面



・小学校児童、地域住民、協議会の意見を反映させ、整備内容を決定

17.運動公園区間整備事業（平成29年～平成30年）⑥

現場写真



階段護岸の施工



低水路の蛇行化



地元と一緒にホタルの生息を目指す



カモが多くみられるように

まとめ

- ・環境授業や協議会等を通して、住民アイデアを反映させながら整備事業を実施。
- ・運動公園隣接場所への階段設置等により、より多くの人を訪れるように。
- ・現場見学会等を通し、地域住民の方が狐川の良さを再認識するきっかけに。
- ・ホタルの生息を目指す動きが高まる。(平成30年6月、協議会が2匹確認)

18.運動公園区間整備事業（平成29年～平成30年）⑦

河川公園化への機運（整備箇所下流）



位置図



不法耕作の状況（平成29年1月撮影）



公園化へ向け、地元が看板設置
（平成30年10月撮影）



不法耕作の撤去
（平成30年5月撮影）

- ・県による不法耕作者に対する継続した撤去指導
- ・当事業をきっかけに地域住民の狐川の環境や景観に対する意識や愛着が高まり、平成29年度末から、地域住民も自ら不法耕作者に対して撤去を要請
⇒ 平成30年に約20,000m²の不法耕作の撤去が実現
- ・現在、地域住民が主体となり、河川公園を作る機運が高まっている。

19.現在(平成30年度)の地元活動



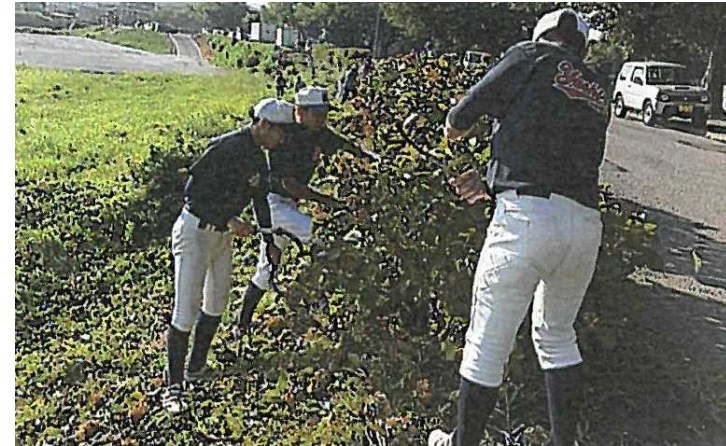
中学生による花植え&重機による整地



地域住民による一斉清掃活動



地域住民によるあじさいの手入れ



スポーツ少年団による草刈り

・地元が、花植えや清掃活動等を毎月実施中。(のべ数百名参加)
⇒ 地域住民の狐川に対する愛着が高まっている。県も地域の取組みを支援。

20.経緯まとめ

年度	取組内容
S39	河川改修工事を開始
S43	水質の悪化が見られる(福井国体開催)国体を契機に本格的な市街地化
S57	ユスリカの大発生が問題化
H1	「狐川を美しくする会」発足
H2	ユスリカ対策として低水路工事を開始(～H11)
H3	地元小中学校による地域環境ジュニアパトロール活動開始
H4	流域で下水道工事に開始
H8	「狐川ユスリカ対策会議」発足
H12	運動公園周辺で「環境保全モデル事業」による河川整備(～H14)
H15	「狐川流域まちづくり協議会」発足。協議会と連携した計画づくり開始
H18	自然再生工事に着手(～H30)
H22	モニタリング調査(水質、生物)着手
H28	国体に向けて、集中的な河川環境整備を実施
H30	河川環境整備が概ね完了。下流部で地元主体による河川公園化の動き(2巡目福井国体開催)